



全部まとめて、
かかってきなさい。

石原
MR.ジョーカー[®]
粉剤DL

水稻害虫の総合防除に
幅広い殺虫力



ねばり強い効果



クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



オオトゲシラホシカメムシ



トゲシラホシカメムシ



ミナミアオカメムシ



アカヒゲホソドリカスミカメ



アカスジカスミカメ



トビロウンカ



セジロウンカ



ヒメトビウンカ



ツマグロヨコバイ



イネツトムシ



コブノメイガ



イナゴ



イネミスゾウムシ

©はバイエルグループの登録商標

全部まとめて、かかってきなさい。



農林水産省登録 第18960号 シラフルオフェン…0.5%

特長

- ① 斑点米の原因となる各種カメムシ類に優れた効果があります。また、優れた残効性により、散布後ふ化してくるカメムシ幼虫にも殺虫効果が期待できます。
- ② ウンカ類とツマグロヨコバイに優れた効果・残効性があります。
- ③ 出穂期に発生するイナゴの老齢幼虫・成虫に優れた効果があります。
- ④ 出穂期以降のカメムシ類とイナゴ等の同時防除が可能で、止葉と穂を食害から守ります。
- ⑤ コブノメイガに対し残効性が長く、中・老齢幼虫にも活性が高いため、散布適期幅は広がります。
(確実に効果を出すため、発蛾最盛期の約1週間後の散布をおすすめします。)
- ⑥ 人畜毒性は普通物※です。
※毒劇物に該当しないものを指している通称

適用害虫および使用方法

作物名・適用場所	適用害虫名	10アール当たり使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類、イナゴ類 コブノメイガ	3~4kg	収穫 7日前 まで	2回 以内	散布
	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ成虫 フタオビコヤガ	3kg			
	イネツトムシ イネアザミウマ	3kg			
だいたす	カメムシ類	4kg	3回 以内		
えだまめ	ナカジロシタバ	4kg			
水田作物、畑作物(休耕田)※	カメムシ類	3~4kg	-	2回 以内	

*印は本剤およびシラフルオフェンを含む農薬の総使用回数

※ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田。

粉剤DL散布の際は、散布機の開度を一般粉剤より一目盛程度しぼってください。

⚠ 使用上の注意事項

- 散布時は、農業用マスクなどを着用して下さい。作業後はうがいをして下さい。
- 蚕に対して影響がありますので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- ミツバチに対して影響がありますので、以下のことに注意して下さい。
 - ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにして下さい。
 - 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼしますので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。散布後は水管理に注意して下さい。

● 使用前にはラベルをよく読んでください ● ラベルの記載以外には使用しないでください ● 小児の手の届く所には置かないでください

ラベルを守って正しく使しましょう!

適用作物、薬量、使用時期、使用回数を守りましょう

石原は「食の安全」を大切にします

●カメムシ類斑点米防止効果

(アカスジカスミカメ、ムギカスミカメ、コバネヒョウタンナガカメムシ混発生)

薬剤名	斑点米発生率(%)		
	0.1	0.2	0.3
MR.ジョーカー粉剤DL	[Bar chart showing 0.1%]		
混合A粉剤	[Bar chart showing ~0.15%]		
無処理	[Bar chart showing ~0.25%]		

品種:ササニシキ 8月15日、8月22日に4kg/10aを散布。(平1 宮城県農業センター)

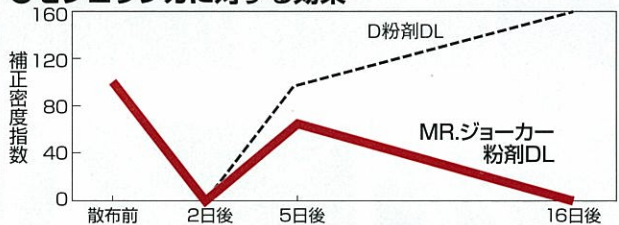
●カメムシ類斑点米防止効果

(クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ中心に中発生)

薬剤名	斑点米粒率(%)		等級
	粗玄米*	精玄米*	
MR.ジョーカー粉剤DL	0.08	0.02	1等米
A粉剤DL	0.48	0.38	3等米
無処理	0.56	0.46	3等米

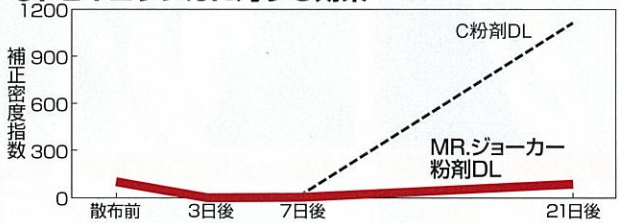
*粗玄米:粒厚1.8mm未満の粒を含む玄米 精玄米:粒厚1.8mm以上の玄米 試験地:福岡県筑紫野市。品種:夢つくし。8月8日(出穂後約11日目)に4kg/10a散布。(平7 九州病害虫防除推進協議会、福岡県農業総合試験場)

●セジロウンカに対する効果



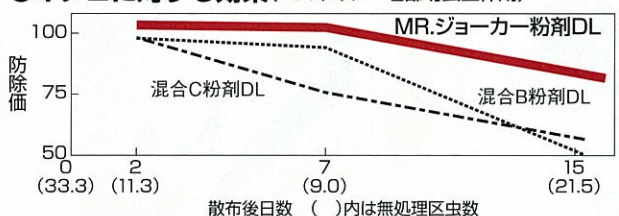
品種:コシヒカリ。7月11日(出穂4日後、穂ぞろい期)に4kg/10a散布。成虫・幼虫混在。捕虫網すくい取り法にて調査。(平4 鹿児島県農業試験場)

●トビイロウンカに対する効果



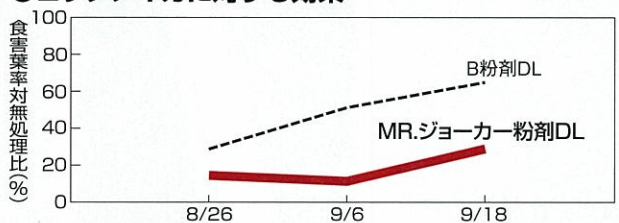
品種:コガネマサリ。7月24日(最高分け時期)に4kg/10a散布。成虫・幼虫数を払い落とし法で調査。(平2 長崎県総合農林試験場)

●イナゴに対する効果(コバネイナゴ老齢幼虫主体期)



品種:むつかおり 8月18日(穂直前)に3kg(他剤は4kg)/10aを散布。20回振りすくい取り法で生虫数を調査。(平5 青森県農業試験場)

●コブノメイガに対する効果



発生状況:多発生 8月12日(穂ばらみ期)に4kg/10aを散布。上位3葉の食害率率を見取り法により調査。(平3 広島県植物防衛協会)



石原バイオサイエンス株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号

ホームページアドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>